

## 普及現地情報

発信年月日：平成25年(2013年)9月27日

所属名：甲賀農産普及課

番号：C13021

部門分類：160 果樹

発信者名：橋本

## イチジクの秋期安定出荷を目指した熟期促進技術研修会を開催

「JAこうかいいちじく生産部会」では、部会員33名で約2haのイチジク「柵井ドーフィン」を栽培しています。当部会は、他の産地と比べ露地栽培の面積が多く、例年、気温が下がり始める9月中旬以降の日出荷量が不安定になる傾向にあります。

そこで、当課では、JAこうかと協力し、イチジクの熟期促進による秋期の安定出荷を目指して、農薬の使用としてカウントされない「オイリング（植物油）処理」の現地研修会を本年度のカルテ農家ほ場で9月3日に開催しました。

研修会当日、当課からイチジクの熟期促進のための「オイリング処理とその作用」、「処理方法の注意点」を説明後、農家からは研修会開催一週間前に行った「オイリング処理」の効果についての話題提供とともに実演を行っていただきました。

当研修会終了後、実際に技術を取り入れた部会員からは「オイリング処理を実践したところ、確かに一週間後に出荷が出来た」等の声が聞け、部会員自らのホームページでも紹介されるほどの反響がありました。

JAこうかのイチジクは、10月末まで収穫・出荷が続く予定であるため、当課では、引き続き安定した出荷が出来るように支援を行います。



「オイリング処理」をしたイチジク  
(葉には処理した日付(8/28)を記載)



オイリング処理の実演



部会員が自らのホームページで  
「イチジクのオイリング」を紹介(9・23)